

事業評価表

(平成20年度実施事業)

事業CD. 0106101 - 04000

京 都 府 南 丹 市
作成日: 平成21年04月22日

事業名	農業者年金事業	事業運営方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直 営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 補助 等	所管部署名等
細事業名		委託先	<input type="checkbox"/> 民間 <input type="checkbox"/> 外郭団体 <input type="checkbox"/> NPO <input type="checkbox"/> 教育機関 <input type="checkbox"/> 自治会・地縁団体 <input type="checkbox"/> その他 ()	農業委員会事務局
事業区分	事業分類: (B) ソフト事業 政策体系CD: 233 <input type="checkbox"/> 新規事業 <input type="checkbox"/> 時限事業 (平成 年度迄)	関連法令・条例等		担当: 中川

【事業の概要】

- ①施策で目指す目標との関連付け
農産物の価格が低迷し、農業の担い手が不足している現状の中で、認定農業者への支援が必要である。その他の利子助成については新規は無く経過措置のみである。
- ②事業を実施する必要性
本市においては、南丹市全域を宣伝・PRする組織・機構がまだ成熟しておらず、また他に宣伝等を行う事業がないため、施策目標実現のためには本事業が必要不可欠である。
- ③未実施事項
概ね計画どおり実行できた
- ④他にも効果が見込める施策があるか
南丹ブランドの「ほんまもん」を作るため、農業者が安心して農業経営を行うことができるための施策として重要である。

【事業費の推移】

	単位	平18決算	平19決算	平20決算	平21予算	平22計画
決算額または計画額	千円	625	592	522	457	457
うち一般職、嘱託職、臨時職 給与および共済費等	千円	0	243	0	238	0
財 源 内 訳	使用料・手数料等	千円	615	584	512	450
	国・府支出金	千円	0	0	0	0
	地 方 債	千円	0	0	0	0
	一 般 財 源	千円	10	8	10	7
職 員 等 従 事 人 員	人/年	—	—	0.30		
人 件 費	千円	—	—	2,318		
事 業 費 総 額	千円	—	—	2,840		

【主な支出の内訳】

年金受給・PR活動 522千円 (需用費、郵送料等)

【近隣市町村の取り組み状況】

亀岡市農業委員会、京丹波町農業委員会が同様の事業を行っている。

【前年度の評価を受けて改善した点等】

【所属長総括評価】

①有効性・効率性を向上させるため、担当職員と議論を重ねた点
 農業者年金制度は、他の公的年金と同様に「老後生活の安定・福祉の向上」の目的に、年金事業を通じた農業政策制度であり、農業者の生涯所得を確保するものである。
 (本事業は、法律に基づき独立行政法人農業者年金基金と南丹市長との業務委託契約による事務であり、年金加入者や受給者及び受給請求手続き数等により当該年の委託費用が変動するものである)

事業活動記録

平成20年度実施事業

政策体系CD	233	事業名	農業者年金事業		
事業CD.	106101-04000	細事業名			
所管部局	農業委員会事務局	所管課	農業委員会事務局	担当	中川 悦光

106101-04000

区分	活動内容	活動日または時期	活動結果
年金受給・PR	●農業者年金受給手続き 被保険者が60歳以上になり、受給資格ができJA→各支所産業建設課→農委で受給手続きを行い農業者年金基金に提出。	平成20年4月から21年3月まで	27人
	●農業者年金加入促進 事務局職員および農業委員が管轄地域の60歳未満の農業従事者に農業者年金の加入推進を行う。	平成20年4月から21年3月まで	25人
	●農業者年金相談活動 農業委員が、地域の協議会や各種の会合で、農業者年金の話を行う。また、農業委員の自宅等でPRパンフレット常設や農年加入相談を受けている。	平成20年4月から21年3月まで	個別訪問を行った人数:6人 普及資材を配布した人数:300人
	●農業者年金PR活動 農業委員会が、年2回発行する「農業委員会だより」に農業者年金コーナーを設けPRを行っている。	平成21年2月・3月	35,000部×2回